くにみ

【第5号】
昭和32年2月1日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　東海林忠一
印刷所　宇佐美印刷所

盛りあげよう新生活運動

社会教育研究集会開く

今年度から町単位で開くことになった社会教育研究集会は、去る十二月十四日藤田小学校に於て町内各種団体代表百五十名参加のもとに開かれた。映画「心の晴着」「今ときの嫁」の観覧による、映画を見ての小団討議が行なわれ映画を中心として活潑な意見が交わされたが、そのまとめにはグループ代表による発表があり午后分科会に入り、青年団、婦人会、PTA、公民館のそれ〳〵の立場からこの運動を進めるにはどうしたらよいかのテーマのもとに熱心な討議が行なわれ全体討議に各代表より発表後評価委員の評価、講師田村操氏の講評等あり有意義な一日を過し散会した。

新生活運動を進めようとする呼声は今全国津々浦々まで広がり、当面の社会生活に欠くことの出来ない目標の一つとして取り上げられているが、その範囲たるや広く漠然として摑みどころのないものと云っても過言ではない。そうした時にこの研究集会がこの問題を取り上げて討議研究したのは迷いる道に一灯を点じた感があった。映画を中心とした討論は現在の嫁の立場を批判する好材料であったし結婚式の簡素化を実現するための手引でもあった。老若男女各層入り混ってのこの研究会の効果は百%だった。

然し結果的には相も変らぬ卓上理論に終った様な感じで、昨年度の研究大会に比して進歩がみられなかったのは残念である。

特に全体討議について再考せねばならない。小会議の報告だけに終ってしまい、参加者全員で討議する時間がなかった為に成果が半減されたのではないでしょうか。

みんなで研究討議する時間だけ短かくし、開会閉会の時間は別であるのはどうゝ云う訳だのだろう。

研究集会は話し合う事であるから、今後青年団、婦人会の人達が手をつないでこの運動を進めるならば、必ずや輝かしい成果があがる事と信じ、その実現の一日も早からん事を心からのぞんでいます。

新生活運動とは、論ずる事ではなく、どんな小さな事でも実行するのがこの運動を進めて行く道であると思う。

賞讃をあびる小坂農青連

小坂農青連（委員長後藤清氏）は発足以来五年目を迎え連盟結成の念願である全農家の経済活動は農協に集中し、農家経済の安定を計ろうと着々その計画を実現してきて農協の経営も非常に確実強固なものとなってきたが、一昨年より農協に農青連の手で下部組織を作り購買に共同販売に農家と農協を結びつける力となってその実績を飛躍的にあげてきたが、これこそ農青連の在り方であると関係団体の注目するところとなり去る十二月十五日、信夫郡下農協参事会はその実態を知る為に、態々小坂に現地視察に来て全参事の絶賛を浴びる処となった。この事は信夫郡下農協及び農青連、農協青年部にセンセーションを捲起し庭坂及び松川農青連をはじめ各地農協及農青連から実地視察の申込や現地座談会の申込が殺到している。県農青連が共同乳業誘置で県酪農界に一大破紋を捲起し農青連の在り方が各界の注視を浴びる現在、小坂農青連の地味であるが確実な活動ぶりは注目されて良い。

傍聴席

△注目の新教委承認の九月定例町議会――めかしこんだ議員欠席者なし、まず上々の出席率。ライトブルーの壁にクリーム色のカーテン、ピンクのコスモスが色をそえ明るく清潔な議場である。

△教委定数条令が上程され五名か三名かに議論集中、S議員「文教委員がある教育委員会の「事務に関する議案等」の審議が役目のはず。

△教委選任について

T議員「内容複雑の気配が感じられる」

K議員「女子委員を入れるのに細工が要るらしく事務手続に質疑百出し相当揉った場面展開。

△本日の提出議案書は丁寧に目を通すと云う大層な量。それを当日与えられ、直ちに審議すると云うのだから議員さんも気の毒、いきおい審議がうわすべりするのもやむをえぬようだ。従って審議未了。

のだから教育委員は無用と思うが、それではあんまりだから……」とは失言にしても暴論……。文教委員は道工事。第一期九一五米×三米一九九万五千円で鴨田組落札し組合側は千五百人の人夫出役、工事費の四割は国庫補助。工事現場は宮城県側に入るので補助をうけるのに細工が要るらしく事務手続に質疑百出し相当揉った場面展開。

△公営住宅二〇戸分の敷地の半分一〇戸分買収、坪七〇〇円。

△財政再建に公募債を発行する額面一〇万円で五五枚内伊達中央信用金庫が三〇枚引受。年利八分二厘、五分以内で政府利子補給。

△水晶森線「入山組合」林

（町民の為再考を要す。）

ほゝえましい婦人学級

鶏町嫁と姑の集い

国見町公民館では新しい試みとして中央婦人学級を開設し、各部落の指導者約六十名を集めて、部落学習活動の進め方を練習している。

鶏町中野よしみさんは、十二月の中央学級で勉強したことをすぐ部落に持帰り、お姑さん方を集めて「嫁の座」「農村の生活改善」「本をよむお母さん」等一連の映画をみての感激をそのまま伝えた。これを聞いた十六人のお姑方、早速

1　嫁を大切にするため年二・三回見学旅行させる

2　その経費としてたまご貯金をすること

3　本を読んで貰う為嫁に読書をすゝめる

その他明るい社会は明るい家庭からというわけで、これまで一番下積にされ、あらゆる苦しみのしわよせをされていた「嫁」を大切にすることの具体的な話合をし、その申合せは即時実行に移ったのであった。

これを聞き、目の前に見た十一人の若い嫁さんたち、大いに感激し、早速「嫁の学級」を開き、お姑さんを大切にすることの研究をした。それぞれ家庭ですぐ実行できることを考え即日実行した。可愛そうな嫁をたすけてやろうとお もってやったことがすぐくわが身にはねかえって来たことをよくこんだお姑さんたちゝこれも勉強のおかげだ、と喜んだ。このことを一番よろこんだのは男性たちで、映写機の運搬や会場の世話など進んで奉仕し、何かにつけて婦人の勉強にあらゆる援助を惜しまず、外助の功を積んでいる。

この「むつみ会」の感想を中野きくさんに書いて戴きました。

今度鶏町むつみ会が結成致しました。この会は母嫁の円満をはかる目的です。

昔から姑、嫁の仲は何かと話合のつかぬ有様が普通でした。私達も常に頭にひびいた点数々御座居ます。それにもかゝわらず部落のお母様達が私等嫁の為にむつましく話合う母嫁会、又年二回楽しみに過して来る日を作って下され、それに付いて月掛貯金をして呉れたのです。私達も楽しい夢を見て毎日働く一日一日に張合仕事も出来ます。家にいては読書会を作って下されば見て本を見る機会も出来、昔の農村の嫁の姿はなくのび〳〵と楽しく働く事が出来ました。

先日公民館長さん初め婦人会長さん来客のもとにむつみ会が結成致しました。聞きますに国見町初めての会とのお話しで、町のもはんとなって農村の姿を明るく導いて行きたいと思います。

これも一に鶏町婦人会長さん初め部落の方達の御酷と厚く御礼申し上げます。御期待にそう様一生懸命に働き、御両親様につくす覚悟で御座居ます。

又部落方々と手をとり合って仲よく何時迄も続く様努力致したいと思いますで何卒今後共御指導の程御願い申上げます。

☆～★　☆～★

舗装完成した藤田本通り

かねてから町民が待望していた国道四号線の舗装がこの程藤田の目抜き通り四百七十五米にわたって完成した。

当初本年度分として三百七十万五千円で四百米舗装の予定であったが予算の関係で更に来年度分七十五米を追加、計四百七十五米総工費四百四十万円で着工、工事は鹿島組仙台出張所が請負い十月六日に地鎮祭を行ってただちに最新式機械力を駆使して突貫工事が進められた。その結果去る十一月二十五日、無事近代的なアスファルト舗装が完成した。又国道舗装に伴って道の両側は従来の外燈にとってかわるコンクリート柱スズラン燈二十九基が設置され、明かるい近代的な町の姿へと脱皮している。今まで雨が降れば凸凹の多い路面いっぱいに泥水がたまり、自動車の走行に両側の店等は勿論通行人までが頭から泥水を浴びせられ、又晴天が続けばもう〳〵たる砂ほこりを否応なしに浴びたものである。これからはその心配もなく安心して歩くことが出来るようになり町民一同ほっとしている。

なお総工費四百四十万円の内訳は国庫補助が四分の三の三百三十万円、県補助が八分の一の五十五万円、地方負担が同じく八分の一の五十五万円となっている。

藤田青年学級開講

藤田公民館では去る十二月七日青年学級の開講式を行った。生徒も本年は五十余名を数え、平均年令も十八才の若々しさで例年にない学習への意気込みが感じられ出席も良好である。授業は毎週火金曜と決め生徒の要望で主として午后七時より九時までの夜学制をとっている。授業内容は十課目程あって中でも職業科の農業気象は福島測候所の藤原技官が担当する。外に農業簿記や英語科では日本語化した新語解説、体育科ではバトミントン競技の普及等が計画されている。その他の行事としては「親の立場子の立場」と題して社会教育課田村操主事の講演があり、そのあと婦人学級と共同で同問題につき座談会を開く予定である。又他にも見学々習の予定等がある。

婦人学級の方も十二月十三日に開講、生徒も二十代から四十代までの家庭婦人七十余名の入学を得て毎週月曜の午前中に授業を行っている。内容は衛生講話、生花、めん類料理、日常作法等の講習に主眼を置いている。

地財法と町税

国の行政施策に順応し県下各町村に先んじ合併して発足以来、新町としての一体性の確立町勢の振興に町民一丸となって努力してまいったのであり、この間新町村建設計画の事業遂行のため幾多の困難を克服して事業遂行に邁進して来たのであります。

合併による赤字財政を計画的に解消するために去る昭和三十一年三月に財政再建基本方針を策立し自治庁の承認を得て町勢発展の礎盤を確立すべく精進してまいりました。これがため自主財源である町税の確保は従来に比し一層の収納率を高めることは勿論滞納税の収納については格段の努力を得なければならないことになりましたので、特段の御配慮をお願いする次第です。

参考まで三十一年十二月末日現在の徴税成績を左に掲載します。

（一般町税）

現年度分	賦課調定額	収入額	収入歩合
	二〇、九三四、三四九	一五、三六五、一八八	七三、三%
滞納繰越分	三、七三九、二〇二	一、三二九、一〇三	三五、五%
計	二四、六七三、五五一	一六、六九四、二九一	六七、六%

（註）財政再建計画による税収見込率滞納税を含む　九三%

収入の一割はぜひ「貯蓄」しましょう
伊達中央信用金庫
国見支店
電話（藤田）126番　支店長　毛利正利

◎よいと思ったことから実行しましょう

◎集会の時間をまもりましょう

農作物品評会ひらく

…森江野地区…

去る十二月二十四、五日の二日間にわたり森江野地区では、昨年の小学校改築二周年を記念して青年団主催、産業部担当のもとに盛大に開催された。

その催の中に小学校では教育品展覧会もあり、又青年学級の方でもこの品評会の催を一層有意義ならしめるために大いにはりきり、各クラブごとに委員長を中心として出品参加した。先づ生花クラブの生花の展示三十五名の出品者があり一教室をあふれるように飾られた。又習字クラブでは今の青年にはめずらしい毛筆で社会道徳福祉と書かれたもの、写真クラブでは東京修学旅行の思い出のパチイなども出された。

総出品数三百七十二点、入賞一等八点、二等十七点、三等三十四点だった。

一等入賞のみ紹介すると大豆 森山佐藤光助、佐藤ハツ午蒡 徳北後藤清、人参佐藤トク、玄米 徳南佐久間元寿、大根 徳江正、馬鈴薯 塚の目佐藤倉治さん等がそれ〴〵入賞に決まった。

友の会の美挙

十二月に入つて例年の通り歳末助けあい運動が始まりましたが、この運動の精神が最初のことほどでなく、少し忘れかけられつゝある時、去る十七日藤田の友の会（滝川貞夫氏他四名）の方々が町の厚生課に金五百円也を届けられました。

この運動を推進している厚生課では、この人々の温い思いやりが暗い気持で年の瀬を越す人達に明るい希望をもたらすであろうと語っていた。

保育所入所児童募集始る!!

旧正月の松もとれいよ〳〵年度末を間近に控えて小学校中学校の入学、進学とそれぞれ忙しい時期がやつて参りました。

町立の二つの保育所も例年にならい入所児童の募集が始りました。今年は第一第二両保育所合せて一三〇名の募集人員となつて町からの告示が二月十日付で出されました。

何しろ乳幼児教育が如何に子供が生長してから重大な影響を及ぼすかと云うことが次第に認識されつゝあるので昨年度は遠く大枝、大木戸、小坂等からも入所児童が喜々として毎日通っています。

藤田地区の子供達は大分入所している様だが第二保育所施した。参加者は学級生五十人名に公民館関係者、館長後藤万七さん、主事の松浦小学校長先生、其の他二、三人で総数六十余名の団体をもつて行われた。

先づ十日の夜汽車で藤田駅を出発し、十一日の朝上野に着いた。一日目はハトバスに乗つて都内を見学した。二日目は徒歩見学とシャレて、あの混ざつの中を予定どおり歩いた。見学各所を紹介すると、先づ皇居 靖国神社、明治神宮、NHK、羽田国際空港、上野動物園、国会議事堂、神田の青果市場、平井の化成肥料工場、其の他主な名所を見学した。こうして十三日の朝何一つの事故もなく藤田駅に着き、社会見学の楽しさと思い出を残して終つたが、この旅行は大きな勉強であつた。

この旅行で一番勉強となつたことは、事前に生徒が都市の文化交通その他多面にわたる研究が役立つたものと思う。それ等の研究を集めて生徒自身の手でプリントなどして旅行シオリにまとめて持つて行つたのは大変良かつた。あの旅行でこんなことを考えた。それは目のあたりに見て勉強できる楽しさを学習の中にとねるに従つて全町民のレクリエーションの意義が行き亘つたと云う感じがしみ〴〵と感じられた。

特に今度は議員の継走、剣道の野試合等の新種目も加え真剣に走り、或は愉快に踊り多数の町民が早朝から藤田小学校庭せましとつめかけ、出場の有無に拘らず共に手に汗を握り、共に楽しみ、回を重ねて第三回町民体育大会が定刻十時七日日曜快晴に恵まれて第三回町民体育大会が定刻十時七日日曜快晴に恵まれて大会長の挨拶に始まり種々繰展げられた競技、レクリエーション、仮装行列と多種多彩

第三回 町民体育大会 盛会裡に終る

ビキニマグロ供養のつもりか魚屋連の土人の行列、何せ一心太助の昔より変つていますね

藤田対大木戸綱引準決勝／乙女達の裸足とすねをまくり上げての大奮闘今や決戦の最高潮

小坂青年学級はじまる

町内の各方部毎に開設されている青年学級は、見るからに良く運営され、活動されているが、小坂方部でも一足遅れての十二月二十日、生徒数五十余名をもつて公民館では学校等の協力の下に開講式をあげた。

学期末を控えて、学校側の多忙にも拘らず、昼、夜となく、体育館、教室を利用するなど、発足早々活動に移り、これについては、当校長の鈴木氏は「青年諸君の為ならば」と、種々の点に於てのよき待遇ぶり。

森江野青年学級 東京へ修学旅行

森江野青年学級では去る十一日より十三日まで四日間にわたり、日本の中心都市である東京方面に修学旅行を実施した。参加者は学級生五十人名に公民館関係者、館長後藤万七さん、主事の松浦小学校長先生、其の他二、三人で総数六十余名の団体をもつて行われた。

先づ十日の夜汽車で藤田駅を出発し、十一日の朝上野に着いた。一日目はハトバスに乗つて都内を見学した。二日目は徒歩見学とシャレて、あの混ざつの中を予定どおり歩いた。見学各所を紹介すると、先づ皇居 靖国神社、明治神宮、NHK、羽田国際空港、上野動物園、国会議事堂、神田の青果市場、平井の化成肥料工場、其の他主な名所を見学した。こうして十三日の朝何一つの事故もなく藤田駅に着き、社会見学の楽しさと思い出を残して終つたが、この旅行は大きな勉強であつた。

この旅行で一番勉強となつたことは、事前に生徒が都市の文化交通その他多面にわたる研究が役立つたものと思う。それ等の研究を集めて生徒自身の手でプリントなどして旅行シオリにまとめて持つて行つたのは大変良かつた。あの旅行でこんなことを考えた。それは目のあたりに見て勉強できる楽しさを学習の中にと

視聴覚部だより

◇録音テープの活用はいかゞ

研究会や講習会などで一番苦労するのは講師の問題です。目的に合つた良い先生を頼みたいと思つても中々見付からない。見付かつてもいそがしくて希望の日時に来ていただけない。そのうちにだん〴〵時期を失つてしまうということが多いようです。いつどこでもお話がきかれ、しかも経費はただという重宝な講師が文部省の録音教材です。県の社会教育課に各種のものが沢山来ていますので、こちらからテープを届けると希望のものを複写して頂けます。それをテープコーダーにかければ何べんでも同じ話がきかれるわけです。（音楽などもあります）テープコーダーは各小、中学校の備品をお借りなさい。小、中学校の設備施設は社会教育のために開放することになつて居りますから遠慮なく借用して下さい。尚テープは本館にも十本備えてありますから御利用下さい。テープの目録は各方部公民館、又は団体に配付してありますが、御申込あれば差上ます。目録をごらんになり、必要なものが決定したら本館に御申出して下さい。本館ではすぐ県に連絡して複製して差上げます。くわしくは本館（役場教育委員会事務局）にお問合せ下さい。

◇エルモを利用して下さい

各部落の分館や婦人会、青年団などで映画会を開きたいときは各方部公民館に申出て下さい。毎月各方部に三〜五日づつの割当がありますのでその範囲内でならば大てい御希望にそうことができます。フイルムも毎月七〜八本づつ来てますし、前もつて御申込あれば、御希望のものを御せわしてもあげられます。料金はいつさい無料です。但し運搬だけは地元で願います。尚くわしくは公民館に御相談下さい。

◇幻燈スライドを使いましょう

公民館には社会教育用幻灯スライドがたくさん用意されて居ります。何れも文部省や農林省その他の推薦によるもので生活改善や保健衛生、生産増強、青少年育成関係など面白いものばかりです。青年団や婦人会その他の小団活動にはもつてこいのものです。機械は各方部の小中学校から借りて下さい。尚スライド目録は方部公民館や各種団体の方に行っておりますが、御申出があれば差上げます。

「たばこ」特産物を尋ねて

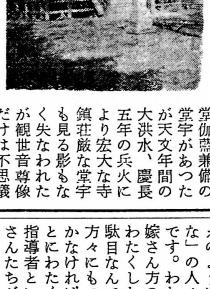
条件の良い天候に恵まれた昨年度の煙草栽培はどうだつたか。十二月六日から十一日迄藤田収納所に於て行なわれた収納状況から検討して見ると一般の方々にも充分御理解下されて、すく〳〵と伸びられる青年になりたいと望むものであります。（佐久間成美）

史蹟を訪ねて (2)

乗連山観音寺縁起

阿部尚信

弘法大師空海高野山にあつて行法中不思議な夢感があつた。それは「奥州国見山のふもと阿武隈川の西日本皇城の鬼門にあたる正に此の地に聖観音の霊像を安置し以て日本総鎮守となせ」と霊夢を感得した空海は急ぎ奥州路を下り異人の導きによりこの霊地を見出し霊木を以て聖観音の像を刻み鬼門を封じて堂宇を建立し大秘法をこめたり時こそ天長三年秋八月と今を去る一四〇年前霊夢によつて来る故に来夢小倭国総鎮守の為め倭鎮院観音寺と称したとある。元の観音堂跡といわれる徳江沼田地内からは今も小さな布目瓦の破片が見つかるが以前わかなり大きな整つた布目瓦が出た。或る考古学研究家によつて偶然布目瓦に年号と思われる文字を彫刻したものが発見された。瓦がくだけてゐて二字の内頭の字はたしかに嘉と云う字だがその次の字がかけてわからないが、



の奇瑞で業火をのがれ現在だけは不思議の秘仏となつてゐる。

（筆者は徳江観音寺住職）

苦心の結果、嘉祥と云う年号である事がほゞ確認された。嘉祥と言えば今から一三〇年ほど前であり、既に空海没後となるが空海の遺志を継いだ沙門と国守村人の協力で壮麗な布目瓦ぶきが出来たであろう事が想像される。

今後の研究により観音堂の布目瓦は当地方古代文化史上に貴重なものになるではないかと思う。

南北朝時代北畠氏一門も帰依し、堂宇の造営修理七堂伽藍兼備の堂宇があつたが天文年間の大洪水、慶長五年の兵火により宏大な寺鎮荘厳な堂宇も見る影もなく失なわれたが観世音尊像だけは不思議の秘仏となつてゐる。

（筆者は徳江観音寺住職）

技術の研究と旺盛な生産意慾とで耕作を続けている人達だが、耕作反別は二十町九反となり、町全体の耕地から見れば微々たるものだが、総売上げは八百七十八万三千九百円で反当四万二千円、K当二百四十七円となつており、収納した量目は三万五千六百三十キログラムで何れも一昨年より減り一時三百名の盛況さを偲ふ面影こそはないが、現在の耕作者はそれ〴〵たゆまざる十週年記念式典が行なわれるが、特産物を作り通して十年誠に感深いものがある。

最高収得者（光明寺星野庄衛）十二万二千六十五円。

次に最高収得者、

▽むすめのねがい△

わたくしは、姉さん（兄嫁）の生活みているとたまらないんです。わたくしたちのたのしい勉強は、青年学級や青年団だけで終つてしまつて、あとは家の中に閉ぢこめられてしまうんです。いまわたくしたちがやつているような勉強が、嫁に行つてもできたら、わたくしたちはどんなに明るく、楽しい生活ができるかわかりません。ところが、農村には人間の生活とおもわれないような嫁の生活をあたりまえのように考えている「おとな」の人々が余りにも多いんです。わたくしたち若い者は嫁さん方の味方なんですが、わたくしたちだけではとても駄目なんです。「おとな」の方々にもつともつと考えて頂かなければ駄目なんです。

とにわたくしは村の社会教育指導者といわれる方々に、嫁さんたちがどんな生活をしているのかをよくみていたいのです。そしてわたくしたちが、嫁になつても勉強ができるようなことを考えていたいのです。でないとわたくしたちの「しん」がとまつてしまうんです。

▽若妻の場合△

娘時代の勉強が嫁の座に入ると断たれてしまい、十年も二十年も家庭の中におしこめられてしまう様では、婦人自身が不幸であるばかりでなくいつまでたつても婦人の地位は向上されないと思うのです。そればかりでなく、新しい農村をつくりあげていくうえに大きなマイナスになると思うのです。だから「嫁」だけの問題としてでなく、姑も男もみんなの問題として青年の教育から二〜三〇代の婦人の教育、四〜五〇代の婦人の教育と、婦人教育の一貫した学習の体系を考えてみる必要があると思われます。こうした大切な若妻の教育の必要さを感じない農村、必要性は十分感じているがこれを設けられない、又設けようとしない農村の封建性を打破し、貧しさからぬけ出るためにも「婦人学級」の在り方にもつともつと反省のメスを加えることが大切ではないでしょうか。

国見中央婦人学級機関紙「あゆみ」より

編集後記

三十一年度は九月に第四号を発行してから第五号の発刊を一月一日の新年号として出す訳で十二月広報部会を開き原稿の収集にかゝり大体終った。ところが編集に入つて年末年始の多忙期になり、印刷所の方もてんやわんやでその機を得ず当初の予定通り行かず、編集責任者として部員始め皆様に御迷惑かけ、深く御詫び申上ます。

今更らに新年度の挨拶も御座いませんが三十二年度には二頁ものでも隔月位の発行を持ちたいとの抱負を持つてゐますので何分にも皆様の援助と支援を御願申上げる次第です。六号は三月末を予定してをります。

（部長）